

十月十五日夜半大本營着電



滿州軍總司令部

右翼軍主力ノ前面及中央軍ノ前面沙河右岸ニハ少数ノ敵兵アルモ散テ大ナル戦闘ヲ惹起スルニ至ラス

左翼軍ノ前面ニ於ケル沙河堡及拉木化(ラムーカ)ノ敵ハ續テ頑強ニ抵抗ヲナシタルモ夕刻ニ至リ我兵遂ニ之ヲ占領セリ

本日午後左翼軍ノ左翼後李大化ニ敵ノ一部現出セシモ我一支隊ハ之ヲ擊攘セリ

本日日没迄三道岡子附近ニ騎兵尚残留シテ抵抗ヲナシツ、アリ我中央軍ノ一部及左翼軍ノ一部ハ目下之ヲ擊攘スルニ努メツ、アリ

一部ハ目下之ヲ擊攘スルニ努メツ、アリ

0825



電報
參謀次長宛

十月十六日
午前十一時五分
午後二時三十分
着

在烟台
總參謀長

財部

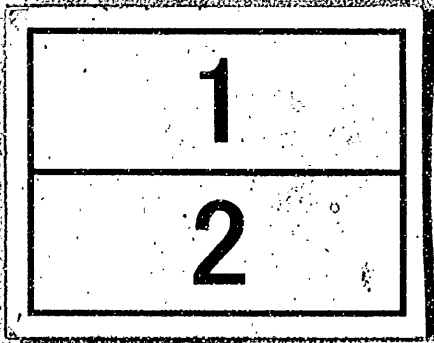
商部

海軍省

本月十日以來、大會戰ハ之ヲ沙河、
會戰ト名ツケラル、コトヲ通報ス

0825-2

分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

十月十六日大本營着電



滯州軍總司令部

本月十日以來、大會戦ハ之ヲ
沙河ノ會戦ト名ツク

0828



十月十六日午後大本營着電

滿州軍總司令部



右翼及中央軍、前面ハ静粛トナリ唯左翼軍
ノ正面ニ激烈ナル砲声アルニ李大人化方面ノ敵情ハ
洩濫ナラス
山田少將、指揮スル部隊ハ昨十五日夜三道岡子附近
高地ノ攻撃ニ於テ砲一門彈藥車二輛ヲ奪取セリ

0829



十月十三日午後大本營着電

左翼軍司令部

昨十二日中央縱隊ノ死傷左ノ如シ
戰死 傷 員

少尉 大尉 大尉 少尉 少尉 全
特務隊長

我謝 大田 榮 秀 盛
大田 陽 光 三 郎
大野 尚 武
柳野 祐 德
川上 和 太郎

下十以下約三四百名

0830



十月十四日大本營首電

上日、戦開、予軍、左、隊

中央軍司令部
死者左、部

戦死
中尉 市岡 達一
大尉 宮田 久一

戦死
中尉 白根 國太郎

戦死
中尉 中津 久太郎

戦死
中尉 伯田 浩太郎

戦死
中尉 高橋 藏六郎

持務長

結城 守雄

0831

下士以下死傷二百四十名

全負傷
微傷

少佐
大尉
中尉

山田
内藤
江口

四郎
益
歳次郎

0832

十月十四日大本營着電



左翼軍司令部

襲撃報告レタル十二日ニ於ケル死傷將校ヲ左ノ如ク追加ス(兵科ヲ示カレモハ終テ步兵科トス)



戦死

負傷

少尉 松浦 靖

中尉 猿木 真壽夫

中尉 岩橋 正

少尉 西浦 政

少尉 磯部 吉八

中尉 土井 知司

少尉 山城 純夫

0833

以上、外十日及十一日ニ於ケル死傷者左、如
 中尉 有川 壯一
 大尉 相良 廣一
 中尉 井上 忠也
 少尉 平松 英雄
 少尉 本田 近

頁傷

生死不明

少佐 前田 前
 特務曹長 立山 寅吉

少尉 伊東 助太郎
 特務曹長 鉾 立新助

以上十日、於ケル死傷

0834

負傷

戦死

小	小	大	大	大	大	志	安	寺
三	野	久	久	久	久	垣		
下	田	村	金	保	田	川	部	部
少	少	中	中	少	少	大	大	大
						務	少	大
						曹		
尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉

0835

十月十四日夜半大本營着電

十一月十二日

戰死

旅

死傷者九

如

シ

滿州軍總司令部

少佐

黒田休八郎

中尉

太田 茂

大佐

安村 範雄

大尉

橋本傳四郎

中尉

有川 茂一

中尉

大塩 清彦

中尉

黒田 清

中尉

長屋 寛

少尉

品川 信

少尉

角岡安太郎

戦死

負傷

左	左	少	左	大	中	少	精	左	少	左	中
		尉		尉	佐	將	長		尉		尉
八	鈴	山	久	津	久	丸	田	衣	市	杉	岡
木	木	口	保	島	能	井	副	川	原	山	水
繁	房	仙	盛	満		政	鎮	榮	太	宗	岩
一	二	藏	之	一	司	亞	助	吉	郎	助	二

0838

大尉	少佐	隸農長	少	少	少	少	中尉	少尉	少尉	大尉
辰取	横山	坂口	杉山	今村	天方	上倉	伊藤	蘆原	大谷	有岡
彦猪	新治	丈太郎	之助	金之助	廣	次郎	安平	武治	廣	本庄
										中谷定之丞
										繁

0839

負傷

大尉	中尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	
植田武太郎	石井又太郎	原田貞吉	木畑浩四郎	服部克巳	兵藤勘七	中川金吾	安田勝治	山村宗吉	神田豊	波多野喜人	田中俊三	山脇嘉作

0840

下士以下死傷約千二百五十名

今

筒井貞次郎

大尉

草野 正

中尉

勅使河原種司

今

宮石守之吉

今

長谷川民次郎

今

奥 敬太郎

少尉

小林 茂雄

特務長

米海藤太郎

今

岩田 勲

今

原田 仁藏

今

吉川 仁之助

今

青木喜重太郎

今

名



十月十六日午前大本營着電

左翼軍司令部

去ル十二日以後ニ於ケル中央縦隊ノ死傷者

如シ

以上戦死

中尉 横井清二郎

全大尉 伊藤啓一郎

少尉 櫻井 静

全少尉 矢田部 幸一作

全少尉 増田 英一

少尉 木内 廣 運

全尉 白坂 貞太郎

中尉 土屋 益

少尉	少尉	少尉	中尉	少尉	少尉	少尉	少尉	少尉	特務長	少尉		
小川安二郎	石渡清作	廣瀬猛	森川潔	山根箕一	吉原理市	池上亀太郎	木下秀四郎	山村梓	大沢月峰	鈴木則柯	濱部永吉	新聞嘉兵衛

0843

十二日ニ於ケル下士以下ノ死傷ハ約二百五十
 二ニテ其後ニ於ケルハ調査中
 右縦隊ノ十四日ニ於ケル死傷ハ如シ
 以上負傷
 以上戦死

特務曹長 高杉啓次郎

中尉(砲) 岡本虎彦

特務曹長(砲) 三ヤ(三宅孝五郎ニハアラハルカ)

大尉(工) 入江源吾

大尉(工) 小田満平

大尉 園田成憲

大尉 青木範一

中尉 日高喜一

0844

以上
頁
機

今 纂 長 少 中 大 大 大 少 少
尉 尉 尉 尉 尉 尉 尉 尉 尉

中馬和 野崎逸次郎 森山 松延 訖摩登太郎 甚倉 昇 高木豊太郎 廣瀬仙之助 武 静 一 吉塚 新 才一バ (大場菊助)

0845

下士以下約五百名
九縦隊ノ十四日迄ノ死傷

九ノ

如シ

大尉 水郡富三郎

少尉 佐藤岩之助

特務曹長 吉安 暢

中尉 豊見卯亀次

少尉 新田房吉

少佐 (砲) 伊藤虎五郎

中尉 (砲) ソウウ (曾野宗四郎)

以上戦死

少佐 大森狗之助

大尉 矢田九郎

大尉 鎌田弥彦

中	中	少	少	少	少	少	少	少	中	中		
尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉		
林	岡	磯	杉	森	平	安	奥	原	山	川	甲	浦
栄	館	勇	真	七	村	恭	重	大	亮	保	賀	濱
		次				太					之	哉
助	雄	郎	造	郎	武	郎	榮	亮	弘	武	助	裕

以下十日以上、死傷約七百五十名

警備長 山田一雄

大尉 忍青木 昇

大尉 伊ノ子

警備長 宇野高太郎

0348

499

38

151

25

+

3396

正
正
正

0849

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

極秘

號外第六七六

大本營宛電報

十月十九日午前七時三十分發

在烟台 大山大将

之ヨリ逐次ニ今回ノ戦闘ニ関スル報告ヲ送ル

十月初ヨリ八日ニ亘ル概況

十月初ヨリ毎日報告セシ如ク敵ハ遼陽ヲ恢復

シ旅順救援ノ目的ヲ以テ攻勢ニ轉スルノ模様

アルヲ察知シ本官ハ徒ラニ專守防禦ノ姿勢ヲ

取ルキハ優勢ナル敵ニ包圍セラレテ悲運ノ情

態ニ陥ルコトアルヲ慮リ彼ノ未タ渾河右岸ニ

其兵力ヲ集結シ得サルニ先タテ却テ攻勢ヲ取

リ逐次敵ヲ撃破シテ其企圖ヲ挫折スルノ有利

ナルヲ認ノ其準備トシテ第一軍ヲシテ其兵力

ヲ右翼ニ集結シ第四第二軍ヲシテ其兵力ヲ太
 子河右岸各白領区域ニ集結セシメタリ然ル
 ニ十月六日ニ至リ梅澤旅團前面ノ敵ハ大ニ増
 加シ全時ニ奉天及其以東ニ在リシ渾河々孟ノ
 敵ハ逐次渾河ヲ渡リテ南進シツアルノ狀況
 ヲ探知シ第一軍ハ榆樹底下附近ヨリ石炭坑ニ
 直ルノ線ヲ占メ以テ他軍ノ前進スルヲ待タシ
 ム而シテ以テ配置ハ近衛師團ハ下柳河南方高地
 附近ヲ第十二師團ハ銀匠堡南方高地ヲ白領シ梅
 澤旅團ハ七日夜ニ乘シテ榆樹底下ニ向ヒ背進
 シ第二師團ハ石炭坑附近ノ旧陣地ニ在テ兵力
 ヲ集結セリ
 八日ニ至リ平台子附近ノ敵ハ南進シテ下石橋

子附近ニ現出シ軍ノ各團隊ハ陣地ノ構成ニ努
 カシ騎兵旅團ハ三家子方面ヨリ敵情ヲ搜索セリ
 此日砲五門ヲ有スル敵ノ歩兵約三大隊騎兵一
 千以上ハ本溪湖ニ來襲セリ全時全地及橋頭ニ
 ハ多數ノ我軍需品蓄積シアリ然ルニ我守備隊
 ハ僅ニ橋頭ニ後備歩兵一中隊本溪湖ニ全歩兵
 三中隊アリシニ此ニ於テ梅澤旅團ハ歩兵二
 大隊砲二門ヲ本溪湖ニ向テ増遣シ本溪湖守備
 隊ハ午後一時ヨリ約二時間前哨陣地ニ據リテ
 抵抗シタル後本防禦陣地ニ退却シ梅澤旅團ノ
 増加兵ト共ニ守備ヲ嚴ニセリ
 之ヨリ先第四軍ハ第五第十師團ノ主力ヲ太子
 河右岸ニ残余ヲ太子河左岸ニ近ク集結シ第十

師團(後備歩兵第十旅團ヲ含ム)ヲ以テ七台子西
 方ヨリ遼連溝西英城子ヲ經テ瀾泥鋪ニ互ル間
 = 第五師團ヲシテ房身南台ニ互ル間ニ於ケル
 防禦陣地ヲ占領セシム
 之ヨリ先第二軍ハ各師團ヲ太子河右岸ニ位置
 セシメタルヲ以テ各防禦線ニ近ク其兵力ヲ集
 結シ居レリ
 奉天遼陽街道ヲ前進セシ故ハ西溝山附近ヨリ
 板橋堡ニ互ル線ニ工事ヲ施コシワ、アリ
 十月九日
 本官ハ敵ノ運動稍浴深ナル状ヲ呈シ且各種ノ
 情報ニ依リ敵ノ大部分ハ既ニ渾河左岸ニ移リ
 テ其主力ハ奉天遼陽街道以東ノ山地ニ在ルト
 ヲ察知シタリ依テ總參謀長ヲシテ羅大台附近

二至リ第一第四軍ノ參謀長ヲ會シテ狀況ヲ報
 告セシメ且前方ノ地形ヲ偵察シテ攻勢移轉ノ
 時機ヲ判断セシメ夕リ
 此日第一軍ノ梅澤旅團方面ニ於テハ掛曉敵兵
 各方面ヨリ前進シ来リ砲戦ヲ開始セリ
 第一軍主力ノ前面ニ於テハ未タ敵兵來襲ノ模
 様ナシ依テ軍司令官ハ第十二師團ヲ以テ先ツ
 該方面ノ敵ヲ撃攘セシムルニ決シ梅澤旅團ヲ
 令師團長ノ指揮下ニ入ラシメ夕リ本溪湖方面
 ニ於テハ敵ノ歩騎兵少クモ五六千威甯宮附近
 ヲリ太子河ヲ渡リテ左岸ヲ前進シ該地守備隊
 ハ頗ル苦戦ニ陥レタリ第十二師團ハ歩兵四大隊
 砲兵一中隊ヲ木越旅團ノ指揮ニ屬シテ銀匠堡

南方高地附近ノ陣地ニ止メ其他ヲ以テ正午過
 ヲリ榆樹底下ニ向テ急行セリ第一軍主力ノ前
 面ニ於テハ敵兵漸次接近シ来リ下柳河子及燒
 津ノ附近ニ達シ其兵力ハ一師團以上トナレリ
 本溪湖方面ノ敵ハ益々増加シテ混成一旅團ト
 ナリ太子河左岸ニ移リシ敵ノ騎兵ハ二聯隊ヲ
 下ラス又約一旅團ノ歩兵ハ此騎兵ニ續行シ本
 溪湖ト橋頭ハ實ニ危急ノ状態ニ瀕セリ依テ軍
 司令官ハ騎兵第二旅團ヲ橋頭方面ニ派遣シテ
 該地ノ危急ヲ救ハシム日没前ニ於テ各方面ノ
 敵ハ益々増加シ太子河左岸ニアルモノ混成一旅
 團トナリ本溪湖攻撃中ノモノ約一師團大峯及
 土門子峯ニハ各一旅團以上ヲウヘレレイ及

三家子附近ニハ約ニ師団トナレリ此日本溪湖
 ノ守備隊ハ早朝ヨリ十二時間余連続セル劇烈
 ナル敵ノ攻撃ヲ受ケタ夕刻ニ至リ同地東方ノ高
 地ハ敵ノ強襲ニ依リテ占領セラレ火連寨道路
 東側ノ高地モ夜襲ニヨリテ敵ニ奪取セララル
 ニ至リ之カ為メ全地兵站部ニ畜積セル軍需品
 ハ殆ント敵手ニ陥ラントスルノ情態ニ迫リシモ
 我守備兵ハ尚能ク之ヲ防衛セリ又榆樹底下附
 近ノ梅澤旅団モ朝来優勢ナル敵ノ攻撃ニ對シ
 其一部ハ夜ニ入ルモ戦闘ヲ繼續セリ
 第四軍方面ノ敵ハ約一師団ニシテ前黄花店板
 橋堡柳塘溝ノ線ニ停止シアリシカ午后至リ
 其兵力ヲ増加シテ南部五里街ニ達シ尚後方ニ

後續部隊アルモノ、如シ鉄道線路ヲ南進中ノ
 敵ハ少ナクモ一師団以上ナリ
 茅二軍前面ノ敵ノ運動ハ活潑ナラスト虽モ其
 首力ハ柳塘溝孫家台ノ線ニアルモノ、如シ
 以上ノ情況ニ依リ本官ハ今ヤ攻勢發轉ノ機熟
 セルト敵ノ首力奉天遼陽街道ノ東方地區ニア
 ルモノト判断シ茅一軍ノ左翼ニ連繫シテ茅四
 軍ノ左翼ヲ前方ニ張出シ敵ヲ東方ニ壓迫シテ
 其背後交通線タル鉄道線路ヨリ遠ク隔離セシ
 ムルヲ以テ戦畧上有利ナル者ト判断セリ
 十月十日ノ為メニ各軍ニ下セシ命令ノ要旨左
 ノ如シ
 茅一軍ノ茅十二師団及梅澤旅団ヲシテ石橋子

0857

方面ノ敵ヲ攻撃セシメ全軍ノ首力ハ茅四軍ノ
 五里台子附近ニ進出スルヲ待チテ奉集堡ニ向
 テ前進スヘク茅四軍ハ胡家孤家子前黄花店ノ敵
 ヲ攻撃スヘク茅二軍ハ茅四軍ノ左翼ニ連繫シ
 テ板橋堡ヨリ太平庄ノ線ニ向テ前進シ後備歩
 兵茅三旅団同茅十一旅団及野戦砲兵茅一旅団
 茅十五聯隊ハ全軍ノ總豫備隊トナリ羅大台南
 方ニ集合スヘキヲ命令セリ以下後ヨリ送ル

0858

海軍大臣

極秘

號外第六



戰鬥報告ノ第二

十月十日

昨夕下セル命令ニ基キ第一軍ハ第四軍ノ五里

台子附近ニ進出スルヲ待テ首力ヲ以テ前面ノ

敵ヲ攻撃スヘキ區處ヲナシ陣地ニアリテ時機

ヲ待テリ此日橋頭ニハ步兵五、輸卒隊等在来

ノ守備兵ト共ニ合シテ約三百名トナリ其一部

ハ捕獲銃ヲ携ヘ老母峯千金峯夫金峯ヲ占メテ

全地ヲ掩護セリ新夕ニ軍ノ令下ニ属ヒラレタ

ル後備歩兵第五旅團ハ連山開ニ急行セリ

十月十九日午後七時四十分獲
十時十二分着

在烟台 大山大将

0859

本溪湖方面ニ於テハ此日朝濃霧ニ乗リ本溪湖
 東方ノ高地ヲ再々奪還シ又午前十一時ニ至リ
 本溪湖火連寨間道路東側高地ヲ奪還セシニ敵
 ハ再々同地ニ向テ突撃シ来リ彼我刃尖相接シ激
 戦ノ後遂ニ之ヲ撃退セリ然レモ敵ハ尚_ホ該高地
 脚ニ止マリテ依然射撃ヲ繼續セリ
 大冷及ヒ土門子冷方面ニ於テモ敵兵益々増加
 シ第十二師團及ヒ梅澤旅團ノ各部隊ハ終日奮
 戦勇闘シ本溪湖方面ノ戦闘夜ニ入りテモ尚銃
 砲聲ヲ繼續シ又太子河左岸ノ敵ハ全方面ヨリ
 我右側背ヲ攻撃セリ之ヲ爲メ橋頭ハ及ツテ安
 全ナル情態ヲ呈スルニ至レリ
 第十二師團ノ先頭ハ午前四時火連寨ニ達シ其

一部八午前九時水溪湖ニ到着セリ
 軍首力方面ニ於テハ敵ハ棉家堡北方高地ヨリ
 三家子附近ノ高地ニ互リ諸所ニ工事ヲ施シ其
 砲兵八時々我ヲ砲撃スルモ未タ真面目ノ攻撃ヲ
 ナサス各師団ハ戦用準備ノ隊形ヲ以テ夜ヲ徹
 セリ此日騎兵旅団ノ一部ハ橋頭ニ達シ首力ハ
 太子河河岸坎沙附近ニアリテ全河孟ヲ警戒セリ
 第四軍ハ早朝ヨリ攻撃前進ニ移リ第十師団ハ
 胡家孤家子ニ向ヒ茅五師団ハ二縦隊トナリ前
 黄花店ニ向ヒ前進スル為メ孤樹子ヨリ五里台
 子ニ互ニ敵ニ對シ攻撃ヲ實施セシモ敵ハ五里
 台子東方高地ニ於テ我ニ對抗セシカ此師団ニ
 附屬セル野砲兵一大隊及ヒ第十師団ニ附屬セル

0861

野砲兵一大隊ハ此敵ニ向テ砲撃ヲ加エシモ
 黄昏ニ至ル迄遂ニ全ク是ヲ撃破スルニ至ラズ
 從テ第一軍ハ攻撃前進ニ移ル機會ヲ得サリ
 此日第十師團ハ敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク大
 營官屯北方一帯ノ高地ヲ台領セリ
 第二軍八午前八時右方ヨリ第三第六第四師團
 ノ順序ヲ以テ大松台子後葛針泡頭通溝ノ線ヲ
 癸ニテ北進ス午後四時第六師團ハ少數ノ敵ヲ
 駆逐シ大東山僅ヲ台領シ第三師團ハ第六師團
 ノ一部ト共ニ双台子三台子附近ニアル微弱ナ
 ル敵ノ歩兵砲兵ヲ撃退シ午後六時談地ヲ台領
 セリ第四師團ハ日没前ニ樹碑台赫家屯ノ線ヲ
 台領セリ

此日第二軍ハ其前方ニ於テ尚諸兵連合ノ敵兵
 アルコトヲ知リ各師團ハ占領シタル陣地ニアリ
 テ夜ヲ徹セリ軍司令官ハ各師團ヨリ一旅團ツ
 ツヲ取リテ軍ノ總豫備隊トナセリ
 秋山支隊ハ首力ヲチンクンホニ置キ一部ヲ黒
 溝名及ヒ渾河右岸ニ派遣シ軍ノ左翼ヲ警戒セリ
 此日我第三第六師團ニ對セシ敵ノ兵力ハ步兵
 約三聯隊騎兵約一旅團砲兵約二中隊ニシテ多
 分敵ノ前進部隊ナクシ
 此日午前總司令部ヲ羅大召ノ南方孫庄子ニ移
 セリ
 此夜本官ノ明日ノ運動ニ関シ下シタル命令ノ
 要旨尤ノ如ク

第一軍八十一日早朝其左翼ヲ營官屯東方高
 地ニ張出シ其前面ノ敵ヲ攻撃ス
 第四軍ハ明朝前進ヲ起ス迄ニ五里台子ノ敵
 ヲ驅逐シ右旋回ヲ十サシメ且ツ柳匠屯方向
 ニ向ヒ敵ヲ攻撃ス
 第二軍ハ明朝曉ヨリ前面ノ敵ヲ撃破シ直
 進シテ沙河堡官林堡ノ線ニ達シ第四軍ノ右
 旋回攻撃ヲ容易ナラシム

海軍大臣 権

極秘

号外第 六八三

電

大本營宛

戦闘報告第 三

十月十一日

前夜ニ於ケル本官ノ命令ニ基キ第 一軍ノ主力ハ拂曉ヨリ攻撃前進ヲ始メシモ昨夜未敵ノ占領セル見刀北方ノ高地及下柳河南方ノ最高地ハ天明ニ至ルモ尚ホ之ヲ占領シ得ス敵ハ上柳河附近ノ高地ニ益々其兵力ヲ増加シ其砲兵ハ八家子北方ノ高地ニ於テ近衛師団ニ對スルモノ約 三中队第 二師団ノ方面ニ於テハ見刀北方高地ニ約 三中队下柳河及三家子北方高地ニ約

十月十九日 午後十時五十分着
 在烟台 大山大将

0865

一中隊陣地ヲ占領シテ盛ニ射撃ヲ為セリ
 軍司令官ハ假令夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シテ上
 柳河北方ノ高地ヨリ燒達勾北方高地ヲ占領ス
 ルニ決心シ午後四時軍ノ總豫備隊タル後備歩
 兵三大隊ヲ第一師團ニ増加セリ
 午後零時半過ヨリ岡崎旅團ハ三面ヨリ受クル
 砲撃ヲ冒シテ半拉山子ヨリ三家子北方ノ高地
 ニ向ヒ整然タル攻撃ヲ行ヒ其砲兵ハ半拉山子
 西北方ヨリ見刀北方ニ在リシ敵ノ砲兵三中队
 ヲ側射シテ之ヲ退却セシメ午後五時頃西部三
 家子西方高地ヲ占領シ續テ前進ヲ繼續シ夜ニ
 入ルモ高ホ敵ト交戦セリ
 本溪湖方面ニ於テハ敵兵約一師團半ニ増加シ

0866

又大嶺及土門子嶺方面ノ敵ハ益々優勢ト為リ若
 戰始ニト其極度ニ達セリ
 是ニ於テ軍司令官ハ木越少将ニ歩兵一大隊ヲ
 残置シ其他ヲ以テ師団主力方面ニ赴援スヘキ
 コトヲ命セリ
 是日軍前面ノ敵ハ第十二師団方面ニ於テ(木溪
 湖方面ノモノモ合シ)約二軍団砲八十門軍主力
 前面ニ於テハ二三師団ヲ集スルニ至リ
 第四軍ノ第五師団ハ洪家屯附近ヨリ十里河ニ
 豆ル敵ニ對シ戦闘ヲ交ハシモ敵ノ砲兵ハ范家
 屯ノ西方及十里河附近ニ於テ猛烈ナル射撃ヲ
 継続シ終日戦闘ノ後敵ノ陣地ヲ奪取スルニ至
 ラスニテ日没ニ至リ

第十師團ハ其左翼隊ノ先頭ヲ以テ蘆菜台ニ達
 セレトスル頃第二師團方面ノ敵兵漸次増加ス
 ルヲ知り野砲及山砲各一大隊ヲ以テ第二師團
 ノ攻撃ヲ援助セシメ主力ヲ周官屯附近ニ集結
 セリ此夜第二師團ノ岡崎旅團ハ苦戦ノ情態ニ
 在リシヲ以テ師團ヨリ歩兵一聯隊ヲシテ之ヲ
 赴援セシメタリ
 是ヨリ先キ本官ハ野戦砲兵第一旅團長及同第
 十五聯隊ヲ第四軍司令官ノ指揮ニ入ラシメ軍
 司令官ハ更ニ之ヲ第十師團長ノ指揮ニ入ラシ
 メタリ
 第二軍前面ノ敵ハ十里河附近ヨリ永徳牛糸(上
 シドウニウル)揚家湾(ヤンシヤワン)ニ至ル線

二陣地ヲ占領セリ
 第三師團ハ午前十時頃軍ノ總豫備ニ在ル歩兵
 第五旅團ノ増加ヲ得主力ヲ以テ五里台子方向
 ヲリ十里河附近ヲ一部ヲ以テ雙台子附近ヨリ
 永徳牛采ノ敵ヲ攻撃スル為メ其砲兵聯隊ノ残
 部ヲ東端ニ配置セリ
 永徳牛采附近ノ敵ハ漸時増加ノ模様アリ
 今時ニ右翼隊方面ニ在テハ南部五里街十里河
 小范家屯附近ニ位置セル敵砲ノ脅威ヲ受ケ且
 ツ十里河附近ハ敵ノ歩兵堅固ニ占領シ在ルヲ
 以テ第三師團長ハ主力ヲ雙台子方面ヨリ永徳
 牛采ノ敵ニ向テ攻撃スルヲ有利ト認メ其實施
 ニ着手セリ

0869

第六師團方面ニテハ午前七時其右翼隊三家林
 子ノ敵ヲ驅逐シテ今地ヲ台領シ右翼隊ハ之ニ
 連繫シテ二名子ヨリ北方ニ前進中前面諸部落
 ニ在ル敵ノ歩砲兵ノ為ニ猛烈ニ射撃セラレ第
 一線ハ停止シテ戦闘ヲ持續ス
 正午頃敵ノ歩兵約二三大隊ハ永徳牛采ヨリ第
 三師團ノ右翼隊ニ向テ逆襲シ来リシモ我歩砲
 兵ノ猛烈ナル威力ト第十師團ノ右翼隊ノ火力
 ニ依リ遠ニ之ヲ撃退セリ敵ハ多大ノ損害ヲ受
 ケテ退却セリ然レモ楊家湾永徳牛采十里河附
 近ノ敵ノ歩砲兵ハ依然頑強ノ抵抗ヲ爲シツ、
 在リ是ニ於テ軍司令官ハ全般ノ情况ニ鑑ミ總
 豫備隊ノ一部ヲ更ニ第三第六師團ニ増加シ猛

烈ニ前面ノ敵ヲ攻撃スヘキコトヲ命セリ
 午後二時頃ヨリ各方面ノ攻撃ハ着々進捗シ午
 後四時頃ヨリ日没迄ノ間ニ於テ小三師團ノ右
 翼隊ハ小澗溝ヲ左翼隊ハ激烈ナル戦闘ノ後永
 徳牛糸ノ南半部ヲ第六師團ハ楊家灣ヲ白領シ
 近ク其前方ニ在ル敵ト相對シ更ニ明早朝ヨリ
 攻撃ヲ実施スルニ決セリ
 第四師團ハ廿日諸兵連合ノ敵ノ一部隊ヲ撃退
 シテ（信置）タイカン（不明）三家子ノ線ニ達シ秋山支隊
 ノ首力ハ依然チ（信置）タイカン（不明）ニアリ此日第三第六師團
 ニ對セシ敵ハ少クモ歩兵二師團ニシテ砲七八
 中隊ヲ有セシカ如シ
 本官ハ第五師團ノ攻撃進捗セサル者ノ第四軍

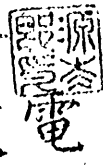
0871

ハ右旋回運動ヲ行フ能ハス為メニ時機ヲ失セ
 シコトヲ慮リ更ニ全軍ノ總隊備隊後備歩兵第
 三、第十一旅團ヲ第四軍司令官ノ指揮ニ屬セシ
 ヲ以テ旋回運動ノ目的ヲ貫徹スルコトニ決セ
 リ而シテ第五師團ハ第二軍ノ攻撃進捗セシニ
 ヲリ更ニ収メテ全軍ノ總隊備トナシ共ヲ荒地
 附近ニ集合セシメタリ蓋シ共旋回運動ハ全局
 面ノ戦況ヲ左右スルニ足ルヘキヲ以テナリ
 右ノ主旨ニヨリ其十二日ノ為メニ下セシ命令
 ノ要旨尤ノ如シ
 一、第一軍ハ目下ノ情況ヲ維持シ且ヲ第二師團
 ヲシテ第四軍ノ攻撃ト共ニ三家子附近ノ敵
 ヲ攻撃スヘシ

二、第四軍ハ明早朝迄ニ三家子附近ノ敵ヲ撃退
 スヘシ共目的ヲ達スル爲メ後備歩兵第三、第
 十一旅團ヲ一時貴官ノ指揮下ニ入ラシム第
 五師團ハ爾今予ノ直接指揮下ニ入ル
 三、第二軍ハ現在ノ位置ヨリ沙河堡方向ニ敵ヲ
 撃退スヘシ又第五師團長ハ歩兵一聯隊砲
 兵ノ全部工兵一大隊ヲ旅團長ノ指揮ニ属シ
 五里台子東方高地ニアリテ第四軍ノ左側背
 ヲ掩護スヘキヲ命セリ(以下續送)



號外第六九二



報



大本營宛

戰聞報告第四

十月十二日日本溪湖ヲ守備セル島村支隊ハ其戰

況頗ル困難ナルヲ以テ第十二師團長ハ其豫備

夕ル歩兵二中队ノ内一中隊ト大谷方面ニ在リ

砲兵中队ヲ之ニ増援セリ又木越少將ノ指揮

スル増援隊ハ夜中火連寨ニ向テ急行シ夕リ午

前一時枳永旅團ハ下柳河西南高地ヲ全ク占領

シ近衛師團ハ午前二時半ヨリ運動ヲ起シ棉花

堡ヨリ八家子北方高地ニ向ヒ前進セリ

岡崎旅團ハ午前三時三十分攻撃前進ヲ起シ夜

十月二十日午後五時十分發
今日午後十時五分着
在大山
大山大將

襲ヲ以テ午前五時過燒連勾北方高地ヲ台領セ
 リ
 近衛師團ハ馬耳山及金鐘山ノ線ニ攻撃前進セ
 ントトセシモ敵ノ大縦隊ハ達子堡附近ヨリ其右
 側ニ運動シ又前面ノ敵ハ頑固ニ抵抗セシ為メ
 攻撃進捗セス
 軍ハ各方面共優勢ノ敵ニ對シテ抗戦シ就中第
 十二師團ハ最モ危急ノ状態ニアルヲ以テ軍主
 力ノ一部ヲ割テ該方面ノ敵ノ右側背ニ策動セ
 シムルニ決シ柘永旅團ヲ下柳河北方高地ヨリ
 谷地ヲ東進セシメントセシ蓮花山附近ノ敵
 砲ヨリ掃射セララルニ依リ夜ニ入りテ始メテ
 運動ニ就クヲ得タリ

0875

本溪湖土門子峯大峯方面ニ在リテハ各方面共
數回優勢ナル敵ノ突撃ヲ受ケ我砲兵陣地ノ一
部ハ一時之ヲ台領セラレタルモ之ヲ逆襲シテ
回復シ終日苦戦シ夜ニ入ルモ尚ホ止マズ我死
傷大ナルト共ニ小銃彈藥又減少セシタノ同方
面ノ我軍隊ハ益々苦境ニ陥リタルモ尚ホ勇戦奮
闘シテ敵ノ強襲ヲ撃退スルヲ得タリ
第二師團ハ夜ニ入リテ下柳河西北方高地端ヲ
リ燒達勾北方高地及楊城寨東南方高地ニ亘ル
線ヲ台領セリ此日騎兵第二旅團ハ太子河左岸
ニ在リシ敵ノ側背ヲ脅威シ其機関砲ハ太子河
右岸島村旅團ニ對シテ集合セシ敵ノ歩兵約二
大隊ニ射撃シテ之ヲ潰乱セシメ且第一線ノ側

0876

背ヨリ猛烈ニ之ヲ射撃シ以テ敵ヲシテ退却ヲ
始ムルノ止ムヲ得サルニ至ラシノタリ
第四軍司令官ハ非常ノ決心ヲ以テ三塊石山方
面ノ敵ヲ夜襲スルニ決シ後備歩兵第三第十一
旅團ヲ豫備トシ第十師團ヲ第一線トナシ午前
一時ヨリ運動ヲ開始シ一部ノ敵ヲ撃退シテ午
前二時過三塊石山附近ノ敵ニ衝突ス敵ハ三塊
石山山頂ニ工事ヲ施シ且其東麓部落ニハ家
屋防禦ヲ爲シ死力ヲ尽シテ頑強ニ抵抗セリ
第十師團ノ第一線ハ敵ヲ包圍シ勇奮劇烈ナ
ル格闘ヲ以テ殆ド敵ヲ全滅シ戦闘最モ悲惨ヲ
極ム此夜襲ニ於テ尤モ異リテカアリタルハ第三
十九聯隊ニシテ聯隊長以下將校下士卒ノ死傷

0877

約四分ノ一ニ達シタリ天明ニ及ビ軍ノ總隊備
 タル後備歩兵第十一旅團ヲ更ニ戦線ニ増加シ
 其二聯隊ヲ以テ楊城寨東南方高地ノ故ヲ攻撃
 シ野砲一大隊山砲一聯隊ヲ以テ此攻撃ヲ援助
 セシム別ニ野砲一聯隊ハ大堡附近ニ陣地ヲ占
 領セリ其他ノ諸隊ハ三塊石山夜襲後ノ整頓ヲ
 為ス此時約二師團ヨリ成ル故ハ蟒家坂南方高
 地ヨリ双台子ニ至ル線ヲ台領シ頑強ノ抵抗ヲ
 為セシ力透ニ此故ヲ撃退スルニ至ラズシテ日
 没ニ至リ此夜後備歩兵第十一旅團ハ前面ノ
 故ヲ夜襲シタルモ優勢ノ故ニ壓迫セラレ結局
 其目的ヲ達スル能ハガリシ
 本日第二軍ノ中央師團第六師團ノ歩兵ハ未明

=浪子街附近ノ敵= 连接シ其砲兵ハ天明ヨリ
 東台附近= 向テ猛火ヲ集中シ突撃ノ準備ヲ力
 ムルト虫トモ敵モ又頑強= 抵抗シ容易= 其撤
 回ヲ見ル能ハス然ル= 午前十時頃ヨリ歩砲火
 ノ効力大= 現ハシ左翼隊ハ敵ノ猛火ヲ冒シテ
 浩潑= 前進シ右翼隊ハ第三師團= 協力シ永徳
 牛泉ノ敵= 向テ猛烈ノ射撃ヲ十スト虫敵ノ死
 守抵抗ハ容易= 談村落ノ奪取ヲ許サス左翼隊
 ハ敵多ノ損害ヲ顧ミス勇ヲ鼓シテ敵= 肉薄シ
 午後零時半頃遂= 敵陣ニ突入シテ其火砲六門
 ヲ奪取シ浪子街ヲ台領セリ師團長ハ軍ノ總豫
 備ヨリ新= 増加セラレタル小泉少将ノ率ユル
 第二十四旅團(二大隊欠)砲兵一大隊ヲ附属シ

直チニ敵ヲ追撃セシム浪子街ノ我カ有ニ歸ス
 ルヤ新銳ナル敵ノ大部隊ハ北部五里街西方
 ヨリ怒濤ノ勢ヲ以テ南進シ来レリ其時師團諸
 隊ノ大部ハ殆ンド浪子街北端ニ進出シアリシ
 ヲ以テ我歩砲兵ハ是ニ向ツテ猛烈ナル射撃ヲ
 加ヘ敵ハ遂ニ潰乱シテ退却ス師團長ハ敵情ノ
 輕シシ難キヲ認メ追撃隊ノ兵力ヲ増加シテ歩
 兵五大隊砲兵三中隊トナシ西部柳塘溝ニ向ッ
 テ前進セシム午前四時半更ニ新銳ナル敵ノ歩
 兵三四大隊ハ我ニ向テ南進シ来リ小東台東
 方ニ於テ我追撃隊ト衝突シ談隊ハ猛烈果敢ノ
 動作ヲ以テ之ヲ撃退シ直ニ敵ニ尾シテ其北方
 無名河ノ線ヲ超ヘ更ニ北方ニ前進セントスル

ヤ敵ノ強大ナル歩兵ハ再ヒ逆襲シ来リシモ之
 ヲ撃退シテ多大ノ損害ヲ興ヘ益々前進ヲ繼續
 セシモ日已ニ没シテ現在地ニ停止シ師團ノ殘
 餘ヲ整頓シテ浪子街附近ニ村落露營ヲナス共
 勇敢猛烈ナル第六師團ノ動作ハ敵ニ大打撃ヲ
 興ヘ我攻撃運動ノ進捗ヲ迅速ナラシメタリ第
 三師團ハ右翼隊ヲ以テ小澗溝附近ヨリ十里河
 ノ敵ヲ左翼隊ヲ以テ南部永德牛泉ヨリ北部永
 德牛泉ノ敵ヲ攻撃セシメ其砲兵ヲ小澗溝西南
 畑地ニ置キ十里河南部五里街龍王府附近ノ敵
 ヲ攻撃セシム正午頃兩翼隊ハ攻撃前進ニ移リ
 左翼隊ハ東北部永德牛泉ニ據リ頑強ニ抵抗ス
 ル敵ヲ撃退シタル後之ヲ追撃シテ午後二時半

龍王窟附近ノ無名河ノ線ニ達シ更ニ進ンテ日
 没前北部五里街ニ遼ス右翼隊ハ砲兵ノ有力ナ
 ル援助ニ依リ午后二時過十里河ヲ占領シ同村
 西端附近ニ在テ最後迄頑強ノ抵抗ヲナシタル
 敵ノ火砲四門ヲ奪取シタル後左翼隊ト連繫シ
 テ敵ヲ追撃シ午后五時ト六時ノ間ニ板橋堡ヲ
 占領セリ此夜師団ハ占領シタル陣地ヲ堅固ニ
 守備シテ夜ヲ徹ス本官ハ茅三師団ノ攻撃ヲ成
 功セシムル目的ヲ以テ目下山田旅団長ノ率ニ
 ル歩兵ヲシテ直ニ范家屯ニ向ヒ前進セシメ用
 子得ヘキ砲兵ヲ尽ク展開シテ此前進ヲ援助セ
 シムヘキコトヲ茅五師団長ニ命令セリ茅四師
 団ノ前衛ハ午后二時ヨリ北煙台ニ在ル敵ノ歩

兵約一聯隊砲八門ヲ攻撃シ午後四時半頃全ク
 之ヲ撃退シテ該地ヲ占領セリ左側支隊ハ李大
 人屯ヨリ太平庄ニ亘ル線ニアリテ夕刻碗店子
 方向ヨリ敵ノ歩兵約一聯隊砲兵約三中隊ノ攻撃
 ヲ受ケタルモ遂ニ之ヲ北方ニ撃退シ師団ハ大
 台、太平庄附近ニ亘ル線ヲ占領シテ夜ヲ徹セリ
 秋山支隊ハ主力ヲ李大人屯ニ置キ單ノ左側ヲ
 警戒ス

此日第一軍ニ對セシ敵ハ少クモ歩兵約三師団
 騎兵約二聯隊砲兵約十一中隊ニシテ其損害ハ
 頗ル大ナルベク現ニ戰場ニ遺棄セシ死体ノ
 数ニテモ將校以下戦死六百ニ達セリ本曰ノ戦
 闘ハ大体ニ於テ我勝利ニ歸シ其主ナル原因ハ

第四軍ノ夜襲攻撃奇効ヲ奏シタルニ依ル然レ
 尺未タ充分ノ追撃ヲナシテ戦勝ヲ全フスル暇
 アラス且敵ハ新鋭ノ豫備隊ヲ有スルモノ如
 キヲ以テ水夜ハ各軍ヲシテ至嚴ノ警戒ヲ抹リ
 戦闘準備ヲ完全ニシテ夜ヲ徹スルコトヲ訓示
 セリ明日ハ尚各方面ノ敵ヲ追撃シテ沙河ノ線
 ニ達セシコトヲ期シ各軍ニ下シタル命令ノ要
 旨左ノ如シ
 一、第一軍ハ正面前ノ敵ヲ追撃シ沙河ノ左岸終
 家坂北西ノ線ニ達シ且榆樹底下方面ノ敵ニ
 對シ退路ヲ遮断スルコトヲ力メ
 二、第四軍ハ正面ノ敵ヲ追撃シテ蒲草窪東北方
 向ヨリ長岑子ニ亘ル線ニ達スルコトヲ力メ

三、第二軍ハ敵ヲ追撃シテ成シ得ルハ沙河堡林
盛堡ノ線ニ達スルコトヲ力メ若シ沙河堡ニ
シテ堅固ナル防禦工事アルトキハ強テ前進
スルコトヲ止メ第四軍ノ左方ニ連絡シテ台
位セシム
總豫備隊ノ主力ハケシカサイニ附近ニ移リ
山田旅團長ノ指揮下ニ在テ戦闘シアル部隊
ハ第二軍ノ右翼ニ連繫シテ前進セシム

(以下續送)